特定非営利法人　日本顎咬合学会　中部支部学術講演会

『デジタル歯科臨床の光と影』
～現状とこれからの課題～

2024年3月31日(日)　**9:15 ～ 12:00** (開場9:00)

会場　栄ガスビル ガスホール 〒460-0008 名古屋市中区栄３丁目15-33

講師　近藤尚知教授　愛知県出身

1993年　東京医科歯科大学大学歯学部　卒業
1997年　東京医科歯科大学大学院　修了（歯学博士）
1997年　東京医科歯科大学歯学部附属病院　医員
1999年　ハーバード大学マサチューセッツ総合病院　研究員
2001年　東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科インプラント・口腔再生医学分野 助手
2009年　岩手医科大学歯学部　口腔インプラント学科　准教授
　　岩手医科大学附属病院　口腔インプラント科　診療部長
　　岩手医科大学附属病院　スポーツ歯科外来　運営委員長
2012年　岩手医科大学歯学部　補綴・インプラント学講座　主任教授
2023年　愛知学院大学歯学部　冠橋義歯・口腔インプラント学講座主任教授
　　愛知学院大学歯学部附属病院　副病院長

インプラント治療における補綴装置の製作工程は、口腔内スキャナーを用いた光学印象採得システムの導入によって、その方法論までもが変わりつつある。すなわち、口腔内スキャナーとCAD/CAMシステムの適用によって新たな治療方法（デジタルワークフロー）が確立されようとしている。本システムにおいては、補綴装置製作に関する情報を歯科医師と歯科技工士がインターネット上で、より迅速かつ密接に共有することが可能となっているだけでなく、作業時間も大幅に短縮することが可能である。

一方、現状では口腔内スキャナー自体の精度、製作された補綴装置の適合精度ならびに適用可能な欠損歯数等、ある程度の制限があることも明らかとなってきた。

我々は、口腔内スキャナーをはじめとするデジタル歯科技術を臨床応用するとともに、メーカーの発表資料に頼らず、独自の方法で精度の検証を行い、真のデジタルワークフローの確立に尽力してきたので、ここにその成果を紹介する予定である。

昨今デジタル関連の技術の発展は著しく、補綴のみならず技工・矯正・外科等、幅広い分野に活用が広がっています。今回、長年わたりデジタル歯科を研究されておられる近藤尚知教授をお招きし、デジタルの本質に迫るお話を聴かせていただくことでこれからの歯科臨床へのデジタル活用の大きな一助となる機会となると確信しております。

中部支部支部長　田ヶ原昭弘

● 参加費

【会員】	歯科医師	：3,300円、期日後及び当日5,500円
	歯科医師以外	：1,100円、期日後及び当日2,200円
【非会員】	歯科医師	：4,400円、期日後及び当日6,600円
	歯科医師以外	：2,200円、期日後及び当日3,300円
【研修医・学生】		：無料

● 申し込み期日　2024年3月11日（月曜日）
● 申し込み先　https://ago.ac/members-and-medical-professionals/branch/chubu-branch/

＜問い合わせ先＞日本顎咬合学会　中部支部　橋本雅人　052-811-3033（橋本歯科医院）